

## 工事現場に産業廃棄物が不法投棄された

### 事例の概要

バイパス道路の整備において、道路改良工事と舗装工事を分割して発注しました。道路改良工事が完了し、次の舗装工事の発注をしている間、現場に産業廃棄物である瓦が大量に不法投棄されてしまいました。

### 原因

道路改良工事の受注者が、工事の完了に伴いバリケード等を撤去したため、現場内に立ち入ることができる状況となっていました。さらに、道路管理者が舗装工事の受注者が決

まるまでの間、その現場状況を放置していたことによるものです。

### 対応策と教訓

- ・不法投棄者が分からないことから、土地の権利者（所有者）が、廃棄物処理法に基づき処分しました。受注者がいない施工途中の現場管理は、道路管理者が責任をもって行う必要があります。
- ・関係者以外の人立ち入りによる事故や建設資材の盗難などを防止するためにも、現場の管理をしっかり行いましょう。

